

感動と出会いの輪を拡げよう! No.3

会報

蔵王

会場設営に頑張っています

朝礼委員会 副委員長
五十嵐浩之



朝礼副委員長、山形グランドホテルの五十嵐浩之です。いつもホテルをご利用くださいます。ありがとうございます。入社して13年、倫理法人会の営業担当として蔵王を担当させていただいてから丁度1年半になります。

前任者からの引き継ぎで営業兼会場担当となり、早速、朝礼副委員長という役職をいただき、MSに出るようになりました。担当になったばかりの頃は、あくまで営業マンとしての仕事の一部分として蔵王を考えていましたので役員の皆さまと顔合わせをさせていただく程度で良いだろうと軽い気持ちでございました。私は会場担当でもありますので、会場設営の打ち合わせをして場を提供するという、どちらかというと会員の皆さんと違うポジションにいると思っていたのです。それは大きな誤解でした。ホテルの金曜日は休みを取れたり、早く帰れ

るという事がまずありません。夜もどうしても遅くなります。ところが、役員朝礼に参加するためには4時半には起きなければなりません。これがつらかったです。

私はフロントに10年ほどおりましたので、土曜日の朝早くから皆さんが「おはようございます!」と来るのを存じ上げていました。その時は朝早くから元気な挨拶と変わった人たちだなというイメージを持っていました。そんな私がまさか蔵王にどっぷりつかるとは思いもしませんでした。

役員朝礼での挨拶練習などは最初はなかなかできませんでしたが、毎週参加するうちに段々挨拶の気持ち良さが判ってきました。MSに出るとその日一日が活気がでるといふか、何か違いますね。逆にMSを休んでしまうとその日一日がだらだらしてしまつて、やっぱり行けば良かったかなと思う時もあります。

私にはさらに良いMSにしたいという強い気持ちがあります。とても嬉しいことに私が担当してからどんどんMSに参加される会員が増えてきました。そして8階アドリアの会場が半分から全面になりました。これは鈴木相談役が強く熱望されておられま

したが、お応えすることができて良かったなあと思っています。会場の拡張については何かと苦労をいたしました。ゆったりと座っていただけず、両側の窓から朝の光が入ると雰囲気は全然違います。また、5月に行われた市村会長の100人MSが200人MSになって2階のサンリヴァに会場を変更した事も忘れられません。サンリヴァをMSで使ったのはその時が初めてでした。

葉で一番好きな章は「苦難は幸福の門」です。大変な事があつてもそれを乗り越えれば良い事があるという部分で言えば、3月11日、蔵王倫理経営講演会の日に起きた震災のことがあります。ホテルは停電のためかなり混乱した状況でした。その中で我々ホテルスタッフがどうしたら良いか思いつかないでいたのに対して、池田会長の行動力には本当に感動しました。その時の出来事は今でも忘れられません。幸いホテル

に大きな被害は無かったのですが、しばらくの間、食事の対応ができなかったこと、当ホテルの事情で会場を変更していただいたことは非常に申し訳なかったと反省しております。

今は東北全体が苦難の時期。仕事に関しても厳しい状況になっていますが、それを乗り越えればよい事があるでしょう。苦難は幸福の門というのはいさうなことなのだと思います。

私は、会場を提供している身として8階でやることを一番大切にしています。わざわざ来てくださるお客様にとつて、いつも講話が聴きやすく、その後の朝食会も楽しんでいただきたいです。役員会でのご意見、ご要望について事務局と調整しながらできるかぎり応えてまいります。より素晴らしいMSができるように更に努力して、蔵王の皆さまに「ありがとう」をたくさん頂けるようにこれからも仕事をしてまいります。

7月のMS

- 7月2日(土) 第366回
『ココロの時代のマーケティング』
やまがたシティエフエム(株)
代表取締役 青柳 等 様
- 7月9日(土) 第367回
『震災支援活動から見て来たもの』
国際ボランティアセンター
理事 阿部眞理子 様
- 7月16日(土) 第368回
『信に生きる』
法人スーパーバイザー
朝倉幹雄 様
- 7月23日(土) 第369回
『東京都普及伸び率No.1のその理由』
中野区倫理法人会
会長 渡邊あかね 様
- 7月30日(土) 第370回
100人MS『山形でいきる』
山形県スポーツ振興21世紀協会
理事長 川越 進 様

6月のモノ・ニダグヤセミナー

※内田研究員講話は割愛させていただきました

『出会いに感謝』

千葉県倫理法人会 監査 引地素久様

▼人の心に花一輪。別れる時に人の心に一輪の花を咲かせるような別れ方をしよう。わくわくさせて、またあの人と会いたいなあと思わせる別れ方をしよう。あの人と会っている息が苦しくなると、別れるとホッとすると思われるようでは、やはり商売では大成しないものです。会って別れる時に楽しかったなあとか。これが商売の秘訣なのです。▼独立したスナックのママが、最近どうもお客が来ないと言う。そりゃさうだ、あなたの店は送り方が悪いもの。「二歩で迎えて七歩で送る」この気持ちを持っていない。タクシーに乗って走り出すとあなたのお店はすつといなくなっちゃう。

『元気発信!祭りの中(四方山話)』

㈱アスク 代表取締役 河合克行様

▼私どものやっているのは単なるお遊戯ではございません。私どもは民族文化サークル四方山会。民族文化研究を行いながらお祭りをやっているサークルです。▼餅つきは右足、左足どちらの足を出してつきますか?ここには正解・ルールがございません。田や畑を耕す。全身で大地を20センチ掘り起こす。鎌を持って力を入れず自然体で耕す時の動

きは右肩と右腰が一緒に出ます。古武道も同じ動きです。これは踊りの型、民族芸能の型でもあります。これがナンバです。▼踊りの先生は皆ナンバで踊っています。ナンバはひねらない、ふんばらない、遠心力は使わないが基本です。民族芸能の踊りはナンバというひとつの型によって踊られているのです。▼山形でなんで徳島の阿波踊り?阿波踊りは元々阿波盆踊りと言います。石垣島のカチャーシー、熊本県のハイヤ節は阿波踊りと同じような踊りです。佐渡おけさはかぶる笠に阿波踊りと共通点があります。その佐渡おけさはハイヤ節から来ています。阿波踊りは決して徳島の産物では無く、2拍子に合わせた踊りは南から北へとずつと上がってきた民族芸能文化なのです。

『本物と心・心と絆』

観光力リスマ工藤事務所
代表 工藤順一様

▼本物と心、心と絆についてお話しします。お客様から求められているものは本物です。人・もの・情報・食で一番大切なのは人。まずこれが最初です。元氣のないところにお客は誰も来ません。挨拶は先に笑顔でしないとイケない。目線を合わせない挨拶をするようではいけない。上辺だけの挨拶は必ずメッキがはがれます。▼元氣で明るく爽やかに、にこっと笑ってひとこと言葉を添えることがお客様にとってどれほど嬉

しいことか。接客する人が悪かったら、どんなに料理が良くても誰も行きません。そろばんの上では100引く1は99ですが、人様に対しては100引く1は0です。笑顔と親切な心。創意と工夫。挨拶から始つて次は地域住民とのキヤッチボール、絆がないと駄目です。▼人もそうですがモノも本物でないといけません。山形県は春夏秋冬4つの季節があります。それらはつくりものでない幸。地産地消ではなく旬産旬消。本物なのか、嘘か出鱈目のその場限りか。口コミの力は大きいので情報は的確に、迅速に、素早く偽りの無いものを提供するのが大切です。

小さな実践、大きな目標

山形県倫理法人会
相談役 中村恒一

▼蔵王倫理法人会は、県内は勿論北海道・東北方面でも右に出るところが無いほど元氣で立派なMSを開催している法人会として名を轟かせていますので、大変誇りにしております。さて、私事で恐縮ですが純粹倫理にふれて、「正しく学びしっかり実践」を目指してきました。今は、微力ながら日本創生に努力しております。▼学ぶには、MSや職場の教養を使った朝礼が最も手軽でした。次ぎに多くの書籍や単行本、月刊誌等にふれることで更に深ま

りました。それと並行して、そこから得た気付きや感じたことを試しました。とても後ろめたい気持ちでした。後に分かったことですが、研究員の口から必ず善さが解りますので実践(試し)てみて下さい。というのですから安堵した次第です。分かったら続けてください。これが実践です。更に、深い問題には倫理指導があります。▼MSの日の実践(何時でもそうですが)は、目覚めと同時にサツと起きる、挨拶は間髪入れずに、返事はハイッとはつきり元氣よく、葉や講話は背筋を伸ばして姿勢良く、拍手はお礼を込めて精一杯叩く等々、今では何気なくやれるようになりました。▼例えば、拍手を取り上げてみましょう。以前の私は、手を打ち合わせて音が出ればそれでいいと思ひこんでいました。大辞泉には、「神を拜んだり、賞賛・賛成などの気持を表現して手を叩くこと。拍手喝采となると、手を叩き大声を挙げてほめること」と記してあります。▼強く叩くと高く、弱いと低い音になる。そこで、賞賛をおくり喜んでもらいたい気持ちを伝えるには、と一念発起して、在らん力で叩いてみた。そうしたら、ころ、手の平が赤くなり血流が激しさを増し今日の健康を実感できたのです。その上、お礼の気持ちと講話者の喜びが交差するのを覚え気分良好となりました。以来、強く精一杯叩くようにしています。